



危険な万博への 校外学習・修学旅行 は中止を



大阪・関西万博のテストラン期間中の4月6日、万博会場（GW工区）で爆発の危険のある濃度のメタンガスが検出され、しかも危機管理体制も不十分であることが明らかになりました。来場者のいのちに関わる重大事態です。

この事態を受け、日本共産党京都市議団は、「安全を確保できるとはいえない大阪・関西万博への校外学習等の参加」について、学校任せにせず、中止するよう申し入れました。

今回のメタンガスは、テストランに参加していた党守口市議が持参した検知器で検出されたもの。検出通報後の万博協会の対応も全く不十分で、参加者の迅速な避難誘導も行われませんでした。

万博への校外学習についての申し入れについては、1月16日に続いて2回目。

京都市では27校が、大阪・関西万博を校外学習等の行き先として予定しており、そのうち17校が4、5月に実施する予定となっています。

申し入れ本文はこちら
らをご覧ください→



←申し入れの
動画

お知らせ

2025.04.06

GW工区におけるメタンガスの検知について

本日、16時頃グリーンワールド（GW）工区において5vol%※を超えるメタンガスを検知したとの連絡が大阪市消防局にありました。その連絡を受け、此花消防署と協会の職員が、メタンガスを検知されたとの連絡があった屋外の電気設備地下ピットを測定したところ5vol%を超えるメタンガスを検知しました。

このため、16時25分に当該箇所の周囲への来場者等の立ち入りを規制し、電気設備地下ピットの蓋を開放し自然換気をおこないました。17時28分に基準値以下になったことを確認し、規制を解除いたしました。その後測定値が0vol%となったことを確認しております。なお当該地下

博覧会協会ホームページから